（様式3）

目標達成計画

事業所名　グループホームふれあいの杜学校町

作成日：　平成　28年　6月　26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 （10）	介護計画作成にあたり、本人・家族の参加を実施することで、家族の一員として、また家族との絆や関係性継続の大切さからも家族の参加は重要と考えることが出来る。今後は、より多くの家族が話し合いに参加してもらうことで、本人の思いが介護計画に反映することを期待している。	サービス担当者会議への本人・家族の参加。	介護計画作成にあたって、これまでは家族の都合も考慮し、計画作成担当者が家族と話し合いを行い、本人に希望を聞き取り、それを基に介護職員とサービス担当者会議を行ってきた。今後は家族との時間調整を行い、可能な限り参加をお願いしていく。また、本人の参加を必須としていきたい。	12ヶ月
2	4 （3）	開所からの経過の中で、運営推進会議参加者に現在変化がある。今後は、利用者、利用者家族、自治会等の参加者、地域包括支援センター等、事業所が地域密着型サービスを行う上で、身近なメンバーへの参加への効果的な働きかけや現在の「良いところ」を継続しながら、事業所からの報告と共に、双方向的な意見交流が行われることを期待したい。	①運営推進会議への自治会からの参加。 ②家族の参加率の増加。	開催時間帯や曜日などを固定せず、意見を伺いながら、柔軟に開催していき、各方面からの参加率アップを目指す。	12ヶ月
3	35 （13）	利用者が参加することで、地域との関わりの「足掛かり」が出来たと思われる。今後はこれを機に災害時の地域との協力体制の構築を期待したい。	地域の一員として、地域防災に位置付けられ、協力体制が構築できる。	①地域の行事や自主防災へ、職員・入居者共に参加をし、ホームの存在を地域住民の多くに認識してもらう。 ②自治会の会合等に参加する。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月